



導 入 事 例

interview for

株式会社テプコシステムズ

TEPSYS 株式会社テプコシステムズ

■ DATA:

ご利用規模：1,500 ユーザー

ご利用製品：クラウド版 Garoon, サイボウズ リモートサービス

長年利用した Notes から Garoon への移行で 100 社を超えるパートナー企業、 1500 名の情報共有基盤を構築

東京電力の情報戦略子会社である株式会社テプコシステムズでは、これまで利用してきた IBM Notes（以下、Notes）によるワークフローや掲示板の刷新を検討。サイボウズが提供する Garoon への移行に至りました。Notes 移行の経緯や Garoon 導入の効果などを、ICT 事業部 ICT 統括グループ マネージャ 吉澤 賢一氏に伺いました。

導入前の課題 旧バージョンの Notes を 使わざるを得ず、 ブラウザに制限が発生。 パートナーとスケジュールが 共有できない

東京電力ホールディングスの情報戦略子会社として、電力事業に欠かせないシステムの構築を 40 年以上手掛けている株式会社テプコシステムズ。業務システムを担うだけの情報子会社とは異なり、電力事業に不可欠なさまざまな仕組みを提供している。

送配電ネットワーク網の管理・制御、電気料金の請求システムをはじめ、原子力発電所における炉心状態解析といった制御系のエンジニアリングも手掛けている。

そんな同社では長年にわたって Notes を利用し、掲示板や社内の申請承認のワークフローを運用してきた。しかし、バージョンアップが困難なほどカスタマイズが加えられており、新たな環境に移行するのが難しい状況だったと吉澤氏は当時を振り返る。

「Notes の影響で、当時社内のインフラでは古い Web ブラウザを利用せざるを得ませんでした。一方、インターネットを利用する場合はセキュリティの観点から新しい Web ブラウザを利用してもらう必要がありました。新たな仕組みを検討する中で、最終的には利用するブラウザを 1 つに統一したいと考えていたのです。Notes から脱却し

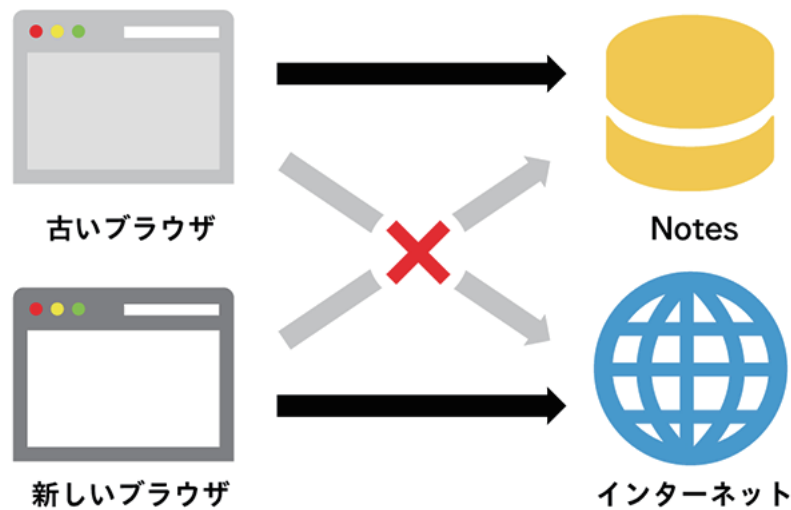
ていくためにも、掲示板とワークフローの仕組みを刷新することが急務でした」。



吉澤 賢一氏

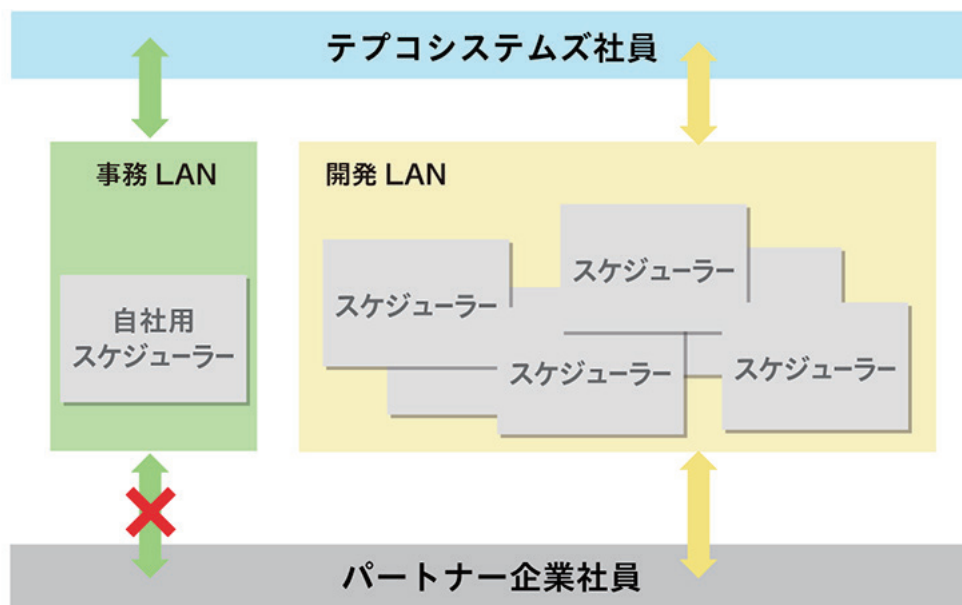
ICT 事業部 ICT 統括グループ マネージャ

Notes のため古いブラウザを利用せざるを得なかった



また、同グループで利用している "事務 LAN" 上で展開しているスケジューラーについても、刷新が求められていた。「委託先パートナーと自社の間でスケジュール共有したいと現場からの要望があったものの、スケジューラーがある事務 LAN には外部の人は接続できません。」と吉澤氏。結果として外部パートナーと共有できる "開発 LAN" 内にフリーのスケジューラーを展開する事業部も増え、許可された環境ではあったものの統制の取れた環境ではなくなってしまった。100 社を超えるパートナー企業と効率的に情報を共有でき、かつ適切な情報統制も実現できる環境が必要となっていた。

スケジューラーが乱立し統制が取れない



導入の決め手 オンプレミスでもセキュアな外部 / モバイルアクセスが実現できる

Notes で運用してきた掲示板とワークフロー、そして外部のパートナー企業と共有できるスケジューラーを併せて検討する過程で注目したのが、サイボウズが提供するグループウェアの Garoon だった。「先行してサイボウズの製品を利用していた事業部があり、そこで画面を見る機会を得たのです。実際の動きも見たところ、我々がイメージしているものに近く、十分使えそうな印象を受けたのがきっかけです」と吉澤氏。

同社のセキュリティ規定上、オンプレミスで運用ができることもグループウェア選定の大きな要件の 1 つだった。Garoon はパッケージ版もサポートされていることが評価された。また、スケジューラーはモバイル端末などを用いて社外から安全にアクセスすることも必要な要件だった。そこで検討したのが「サイボウズ リモートサービス」。クライアント証明書の入ったデバイスのみからアクセス可能な環境を構築できることがわかり、セキュリティ面でも大きく評価されたのだ。

パートナー企業社員とのスケジュール共有も想定し、以前スケジュールを構築していた " 事務 LAN " ではなく、パートナー企業もアクセスできる " 開発 LAN " 側に Garoon を構築することに。

「Garoon ならリモートサービスを通じて社外からでも安全にアクセスできるようになる点は大きかったです。他の社内システムは、社外から利用する場合 VDI 環境を使っているのですが、Garoon の場合は証明書による認証のおかげで、VDI を経由せずともセキュアにアクセスすることができます。スマートフォンなどのモバイルデバイスからも利用できるできるので、承認作業やスケジュール確認も安全に実施できます。」と吉澤氏は語る。

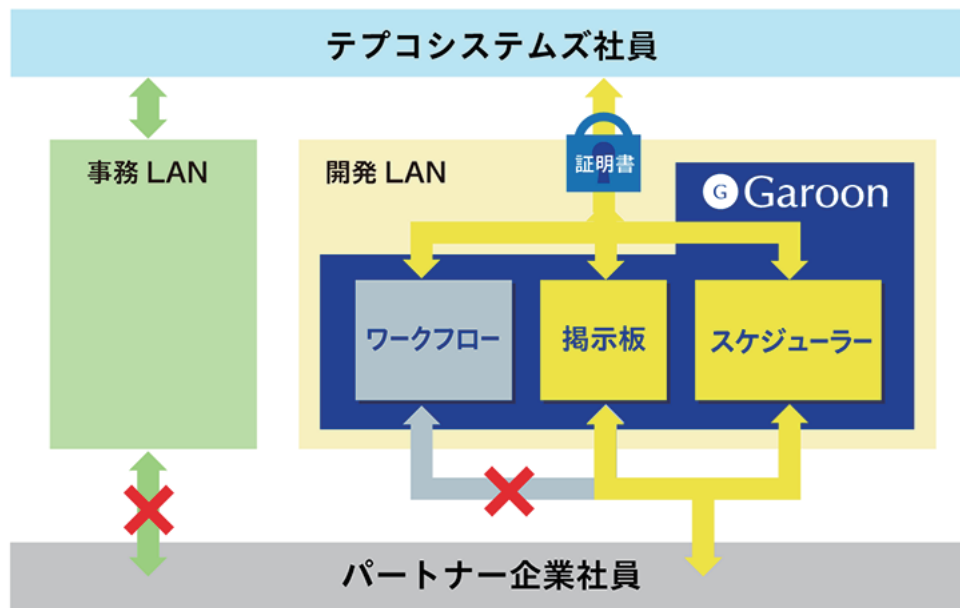
結果として、Notes で実装されてきた掲示板やワークフローを刷新し、外部パートナーとのスケジュールも共有可能な基盤として Garoon が選択されることになる。

導入効果 Notes の業務を Garoon に問題なくシフト。連携サービスで会議室の利用も効率化

今回導入した Garoon は、" 開発 LAN " 側に冗長化された状態で社内のサーバールームに設置されている。外部パートナーも含め、およそ 1500 ユーザーが利用している状況だ。今では“動いて当たり前”のシステムとして多くのユーザーが利用しており、業務に欠かせない状況だという。

「今回は外部パートナーと共有できる環境を Garoon にて整えたことで、きちんと統制の効いた環境となりました」と吉澤氏は評価する。Garoon のアクセス権設定機能により、パートナー企業の社員にはスケジュールと掲示板の一部を中心に利用してもらい、社員はワークフロー等の機能も利用を許可する運用を行っている。

「アクセス権」「リモートサービス」で安全な環境に

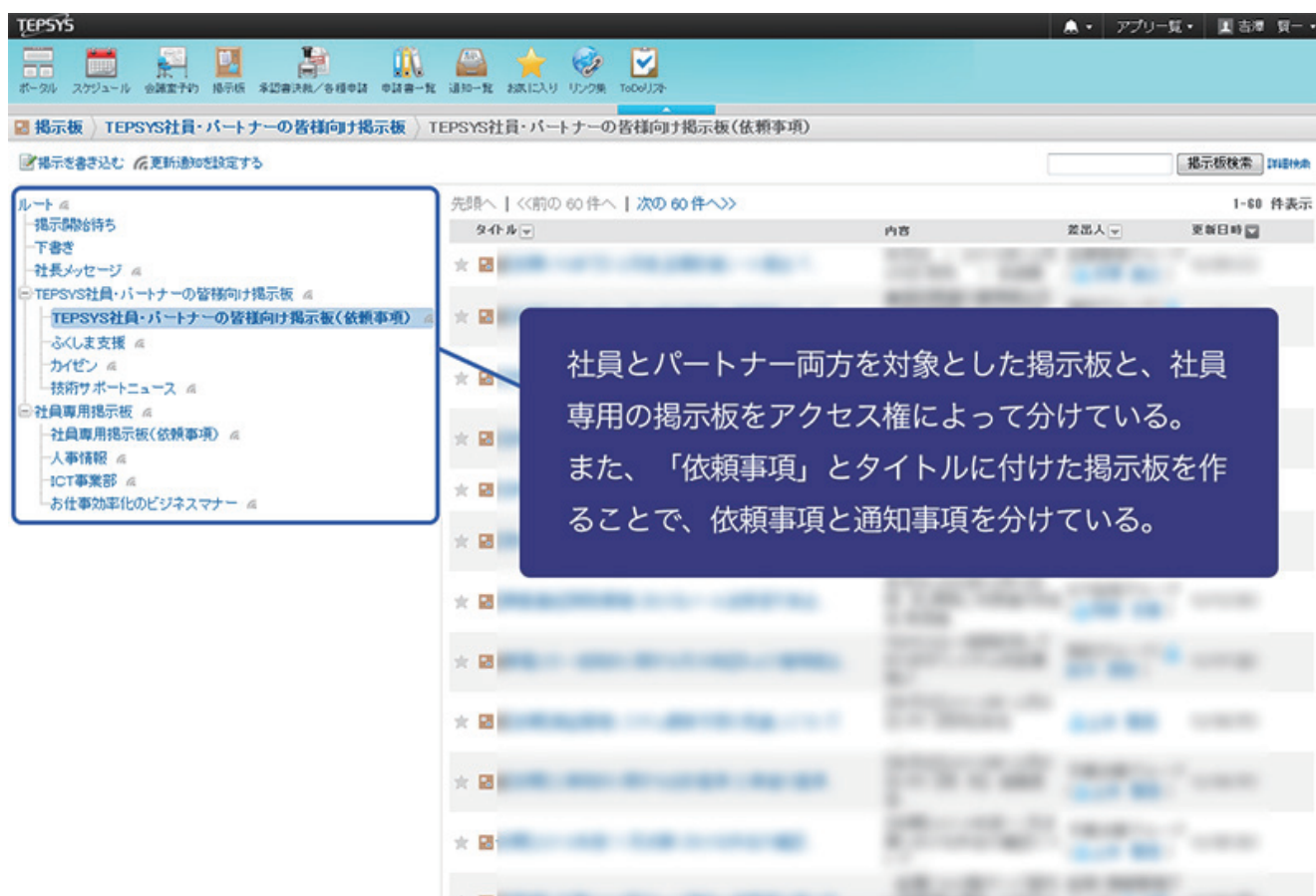


The screenshot shows the TEP-SYS portal interface. At the top, there's a navigation bar with icons for various functions. Below it, a section titled "スケジュール(グループ表示)" (Schedule (Group View)) displays a calendar for December 16, 2018. The calendar shows various events and meetings scheduled for the day. On the left side, there are links to "グループウェア利用に関するガイドラインはこちら" (Click here for guidelines on using Groupware) and "グループウェアに関するご質問・ご不明点・ご要望等については、下記までご連絡ください" (For questions, uncertainties, or requests regarding Groupware, please contact the following). Below the calendar, there are sections for "お知らせ" (Notice) and "お知らせ" (Notice), providing updates and information to the users.

スケジュールや各種掲示、ガイドラインへのリンク等を一覧できるポータル画面。

「以前は Excel で行われていた飲み会の日程調整が、Garoon のスケジュールで行われていたりもします。当初は想定していませんでしたが、柔軟な発想で各自使い始めています」吉澤氏は説明する。

掲示板はパートナーを含めた全員に公開するものと、社員限定公開のものに分けている。さらに社員向けには「依頼」「通知」でそれぞれ掲示板を分けて運用している。「自分に関する情報は全てお気に入りに登録し、自分のポータルからアクセスしやすくするなど、いろいろ工夫してますね。」と吉澤氏。事業部ごとに専用の掲示板も提供したり、掲示板のコメント機能も利用できるようにして、活発な利用を促している。



ワークフローは、これまで Excel 帳票をメールで送る運用だった各種申請に利用している。PC の手配やネットワークセグメントの切り替え申請、時間外申請、予算申請や受注金額の承認などその用途は幅広い。リモートサービスによって、モバイル端末から社外でも容易に承認作業ができるようになった。「以前は Notes で行われていたフローのほとんどを Garoon にて実装することができました。Notes で実装していた申請に関する通知の機能も、Garoon の回覧機能を使って同じような形で運用することができています。過去の承認書は HTML 化したうえで、過去情報として閲覧できるようにしています」と吉澤氏は説明する。

TEPSYS

ホーム スケジュール 会議室予約 掲示板 承認済決定/各種申請 申請書一覧 通知一覧 お知らせ リンク集 ToDoリスト

ワークフロー(受信一覧)

申請する

最新一覧 送信一覧 受信一覧 下書き 承認予定一覧 公開一覧

先頭へ | <前の 60 件へ | 次の 60 件へ>

1-68 件表示

番号	優先度	申請フォーム名	概要	状況	申請者	申請日
2-2018-67		IT基盤申請2	K210開発環境パートナーリースフォルダ利用申請書	進行中		12/28(金)
1-2018-259		IT基盤申請1	K202 Webホワイトリスト申請	進行中		12/27(木)
2-2018-66		IT基盤申請2	K210開発環境パートナーリースフォルダ利用申請書	進行中		12/27(木)
2018-12237		特許外申請	特許外申請	完了		12/27(木)
1-2018-258		IT基盤申請1	8065.01_情報機器要望書(購買あり)	完了		12/26(水)
2018-12150		特許外申請	特許外申請	完了		12/26(水)
2018-459-547	至急	承認者:ICT事業部	インターネット回線敷設について	完了		12/26(水)
1-2018-256		IT基盤申請1	K202 Webホワイトリスト申請(20181226)mvnrepository	完了		12/26(水)
2018-459-548		承認者:ICT事業部	の委託発注	完了		12/26(水)
2018-470-213		承認者:システム企画室	等の保守契約の締結について	承認		12/26(水)
2018-459-540	至急	承認者:ICT事業部	に関する契	完了		12/26(水)
1-2018-255	至急	IT基盤申請1	情報機器要望書(購買あり)	完了		12/25(火)
1-2018-254		IT基盤申請1	K202 Webホワイトリスト申請(20181221)theusnus	完了		12/21(金)
4-2018-449		IT基盤申請4	HM特送/SM利用許可報告書	進行中		12/21(金)
2018-459-529		承認者:ICT事業部	ソフトウ...	完了		12/21(金)
2018-11662		特許外申請	特許外申請	完了		12/20(木)
2018-459-531	至急	承認者:ICT事業部	契約締結に向けた見積書の...	完了		12/20(木)
1-2018-253	至急	IT基盤申請1	K202 Webホワイトリスト申請(20181219)googlecom	却下		12/19(水)
1-2018-252		IT基盤申請1	2018.1219情報機器要望書	取消		12/19(水)
総務-2018-1337	至急	経務関連申請	臨時入室証借用依頼書	完了		12/19(水)
2018-11638		特許外申請	特許外申請	完了		12/18(火)
1-2018-251		IT基盤申請1	K202 Webホワイトリスト申請	完了		12/18(火)
2-2018-65		IT基盤申請2	20181220	完了		12/18(火)
1-2018-250		IT基盤申請1	K202 Webホワイトリスト申請	承認		12/18(火)
2018-11621		特許外申請	特許外申請	完了		12/18(火)

実際のワークフローの画面。進行状況や優先度が一覧できる。

Notes のデータは新環境に移行しなくても、後から閲覧できる環境だけ整えておけば、問題なく業務を継続できることが多い。テプコシステムズでも Notes に蓄積されていた掲示板などのデータは Garoon には移行しなかった。「結果として、移行の負担が少なくなり、保守費用などコストの面でも効果が表れています」と吉澤氏は評価する。

さらに、同社が提供している「会議室利用状況分析サービス」と Garoon を連携させた活用もしている。このサービスは、会議室に設置された人感センサーによって得られた情報を、フロアごとに設置された SIM 付きのゲートウェイを経由して 5 分間隔で AWS 上にアップロードする。AWS 上にある会議室の利用状況を Garoon のスケジュールに表示させることで、会議室の利用状況がスケジュール上で把握できる仕組みだ。空予約の防止や、早めに終わった会議室の開放促進などで、会議室の有効活用に役立っている。



「会議室利用状況分析サービス」との連携により、リアルタイムに会議室の実際の利用状況が把握できる。

Garoon 導入時説明会は数回行った程度で、どの社員もすぐに使い始めることができた。その結果、当初の計画よりも 2 か月前倒しで稼働させることに成功したという。使い勝手の面で問い合わせが殺到するようなことはありません。情報システム系の会社だけに社員の IT リテラシーが高い面もありますが、おそらくこう動くだろうというイメージ通りに Garoon が動いてくれるので、スムーズに使えているのだと思います」とその使い勝手を評価する。

今後の展望 ルールやマニュアル類を集めたポータルを作成し、さらなる活用を目指す

今後については、現在利用している機能をさらに活用していきながら、社員や外部パートナーが増えたときには適切にアカウントを増やしていく予定だ。

また、吉澤氏の部門が管理している社内手続きのルールや PC の設定方法などのマニュアル類を集めて、ポータル的に運用していきたいという。「現状は古い情報も多く、メンテナンス自体も大変です。ポータルを整備するときに最新の情報に切り替えたうえで、必要な情報にたどり着きやすいようにしたい」と吉澤氏。さらなる活用を目指しつつ、今後 Garoon に搭載される新たな機能についても利用者のニーズに合わせて使っていきたいと前向きに語った。